

【総論】

○全体を通して、生徒の意識はほぼすべての項目で大きく改善をしている。一方、保護者はおおむね横ばい、教職員は項目によって変動が大きく、否定的な回答も増加している。この中で、生徒の評価の向上はもっとも重要であり、今後その思いを保護者に伝える方策の検討を行う。また、教員の反応は問題意識の芽生えとも取れ、これを学校改善に生かしていく必要がある。

①生徒アンケート、②保護者アンケート、③教職員アンケート

【総合的な項目】

○総合的な項目においては、生徒の意識は大きく改善したが、一方、教職員においては大きく低下している。

- ①生徒アンケートの結果は、好意的な回答が増加している。
 - ・「学校へ行くのが楽しい」68.1%（昨年度+5.8%）
 - ・「この学校に入ってよかったと思う」72.0%（昨年度+7.1%）
- ②保護者アンケートの結果は、高い数値でおおむね横ばいであった。
 - ・「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」73.2%（昨年度-2.0%）
 - ・「子どもを佐野工科に行かせて良かったと思う」92.2%（昨年度-0.6%）
- ③教職員アンケートの結果は、大きく後退しており、問題意識がある。
 - ・「教育活動全般において、生徒や保護者の願いにこたえている」64.7%（昨年度-22.5%）

【学習指導等について】

○学習指導に関する項目は、以下の結果であった。生徒の意識においては、全般を通し、良い傾向を示している。今後さらなる改善に向けて、教職員で高い数値（79.4%）を示している習熟度別授業の導入等の検討を行う。

- ①以下の6項目全てで向上しており、授業改善等の効果がうかがえる。
 - ・「進路希望に応じた授業が選択できる」83.5%（昨年度+3.8%）
 - ・「普通科目の授業はわかりやすい」75.8%（昨年度+4.0%）
 - ・「専門科目の授業（座学）はわかりやすい」71.4%（昨年度+2.8%）
 - ・「実験・実習などの授業はよく学習できている」81.6%（昨年度+2.8%）
 - ・「家庭学習をしている」36.9%（昨年度+7.4%）
 - ・「資格・検定の取得に向けて努力している」58.4%（昨年度+7.5%）
- ②低い数値で横ばいであり、改善の努力が必要である。
 - ・「子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている」58.8%（昨年度-0.1%）
- ③2項目とも微増しているが、低い数値であり、さらなる改善が必要。
 - ・「到達度の低い生徒に対する学習指導を、全校的課題として取り組んでいる」55.9%（昨年度+2.0%）
 - ・「学習意欲の高い生徒に対する学習指導を個に応じた視点で工夫している」50.0%（昨年度+2.6%）

【生徒指導等について】

○生徒指導に関する項目は、生徒の意識において大幅な改善が見られた。厳しさの中にカウンセリングマインドを取り入れた指導を、より進めていく必要がある。

- ①結果は大きく改善。生徒の教員に対する意識としては、信頼度が増加。
 - ・「先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」81.8%（昨年質問項目なし）
 - ・「担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談できる先生がいる」61.8%（昨年度+10.3%）
 - ・「学校生活についての先生の指導は納得できる」67.6%（昨年度+10.1%）
- ②高い値で現状維持。保護者に対する信頼は一定維持できている。
 - ・「学校の生徒指導の方針に共感できる」81.0%（昨年度+0.3%）
 - ・「学校は子どもに命を大切にすると心や社会ルールを守る態度を育てようとしている」87.0%（昨年度-1.7%）
 - ・「学校では、いじめや差別を許さず、厳しく指導している」86.9%（昨年度+1.4%）
- ③教員の意識としては、強く問題提議がなされており、対応が必要。
 - ・「生徒の問題行動が起きた時、組織的に対応できる体制が整っている」73.5%（昨年度-18.6%）
 - ・「教育相談体制が整備されており生徒は学級担任以外の教員とも相談できる」61.8%（昨年度-14.6%）
 - ・「生徒指導において、家庭との緊密な連携ができている」78.1%（昨年度-11.3%）
 - ・「この学校ではカウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている」44.1%（昨年度-3.3%）

【その他の項目について】

○進路指導に関する項目については、生徒は微増、保護者は高い数値で評価が維持されており、昨年度と大きな変化はない。しかし、教員内では満足度が低く、改善の必要性を訴えている。

- ③「生徒一人ひとりが興味、関心、適正に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている」68.8%（昨年度-5.1%）

○保護者、教職員において、学校の情報提供に不満がある。大雨による休校時のことも影響している。方法、手段等を検討し、さらなる広報活動に努める必要がある。

- ②「学校は教育情報について、提供の努力をしている」75.9%（昨年度-2.6%）
- ③「教育活動に必要な情報について、生徒や保護者の願いにこたえている」64.7%（昨年度-25.7%）

【まとめ】

○生徒の基本的な生活習慣（睡眠、朝食、学習）が不十分な現状を踏まえ、より丁寧できめ細やかな指導が求められている。

保護者においては、教育活動に対する興味、関心の高まりもあり、教育活動の発信について検討が必要と思われる。

また、教員において、「本校の工業教育は現状のままでよい。44.1%」など、工業教育そのものの方向性についても議論を加えていく必要がある。